



TCA

—NEWS—

Vol.57 夏号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市民国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代

ボウリングを楽しむ交流会



5月13日 富山地铁ゴールデンボウル

参加者33名（内外国人24名）の大半は、「ボウリングをするのは初めて…！」と興味津々。靴を履き変えたり、ボウル選びのうちから真剣な面持。でも、ゲームが進むと大きな笑い声や歓声で盛り上がっていました。

もっと知ろう世界の街

6月17日
当センター

「ハンガリー」(Magyarország)

講師 ボクナル・ペーテル氏（富山大学文学部留学生）
参加者は、「ドナウの真珠」と讃えられる美しい都ブダペストの世界遺産を案内してもらい、パプリカを使った料理とワインのおいしさを想像しながら、ハンガリーを旅した気分になりました。

文化交流委員会

秦皇島市友好訪問団を歓迎



5月29日 富山市民プラザ「遊ゆう」

当協会では、歓迎会を催し、中国の歌や日本の歌を歌ったり、楽しく交流し、友好をさらに深めました。

姉妹友好都市委員会

お花見交流会

4月4日



風が強くとても寒い日でしたが、松川べりの桜の木の下で車座になって花見をしました。

中国、米国、オランダ、ロシア、フィリピンほか在住外国人や会員ら、みんなが持ち寄った国際色豊かな食べ物は交流に花をそえました。

室内（サンシップとやま）に席を移して、ダンスやゲームも楽しみました。

ボランティア養成講座

5月29日

サンシップとやま

今年度は、初めての取り組みとして、富山市民社会福祉協議会と共催で開催しました。

大阪ボランティア協会ボランティアコーディネーター 海士美雪氏が「あなたが動く、社会が変わる～これからのボランティア活動～」と題して講演され、約200人が出席しました。

料理交流会

日本の家庭料理

メニュー：カレー寿司、豚肉とニンニクの芽の炒め物、うなぎとオクラのサラダ、豆腐ごまドリンク

中国、台湾、オランダ、韓国、米国、ブラジルなど富山在住の外国人と会員らが参加（24名）しました。

4つのグループに分かれてボランティア委員会の人たちから夏バテを解消する日本の家庭料理の作り方を教わり、和気あいあいと楽しくおいしく交流しました。

また、交流に先立ち、保健師よりメタボリックシンドロームについての講義もありました。



6月7日 富山中央保健福祉センター

ボランティア委員会

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

富山市民国際交流協会総会

… お互いの文化の違いや価値観を尊重して
共に暮せる多文化共生の地域づくりを …

- ・平成19年度富山市民国際交流協会総会は、会員80余名が出席し開催されました。
- ・会長あいさつ、来賓からの祝辞の後、総会次第により議事が進められ、平成18年度事業報告・決算報告、平成19年度事業計画・収支予算ほか各議案について承認・議決されました。
- ・総会に引き続き、アンジェロ・イシ氏の記念講演があり、その後の交流レセプションでは、会員相互の親睦を深めました。



あいさつ

富山市民国際交流協会 会長 八嶋 健三

近年、外国人登録者が増加しております。全国の外国人登録者は、平成17年末には201万人余りで、10年前の概ね1.5倍、富山県内においても、平成18年末現在で、14,800人余りで、10年前の概ね2倍と、全国を上回る伸びとなっております。

また、富山市では、平成18年末で5,300人余りで10年前の概ね1.7倍、人口に占める割合は、1.2%となっております。岐阜県可児市では6.3%で16人に一人が外国人という市もあります。

今後も外国人定住者の増加が予想されるため富山県では、国の指針に基づき、地域の国際化をさらに推進するため「多文化共生推進プラン」が策定されました。

このような状況のなか、当協会では平成19年度事業は、従来からの「各種事業」を充実して開催し、また、「姉妹都市への訪問団の派遣」では、米国 ダーラム市のパビリオン建設に皆様から多くの寄付をいただいておりますが、この度パビリオンが完成し、本年10月に完成式が行なわれますので参加を予定しております。

今後とも、お互い連携を保ちながら協会発展に向け努力してまいりたいと考えておりますので、会員の皆様の一層の参加とご協力、関係者の方々の暖かいご支援をお願いいたします。

記念講演

「在住外国人の素顔と本音」

～日系ブラジル人の話題を中心に～

アンジェロ・イシ 氏

財自治体国際化協会 多文化共生推進のためのアドバイザー
武蔵大学社会学部准教授



日本には、いま、30万人以上のブラジル人が住んでいる。ブラジルに住む約150万人の日系移民とその子孫。1980年以降には、日本で3年程度金儲けをしてブラジルに帰るつもりだったいわゆるデカセギ移民は、1990年の入管法改正以来、永住権を取得するばかりでなく、住宅も購入するニューカマーが増加している。在住ブラジル人は、全国に散らばっていてもウェブラジオ時代のエスニック・メディアの新たな展開でみんな繋がっている。経済活動と社会活動「エキスポ・ビジネス」。これらを知っている日本人はどのくらいいるだろうか。

在住ブラジル人は、いつも「言葉」「法」「心」の壁に挑戦しながらも「法の壁」よりも「心の壁」崩しを訴え、雇用主の「理解」、行政の「善意」、日本国民の「良心」を求めている。なかでも日系ブラジル人は、日本の文化を愛し、理解し、愛知県などでは「のど自慢大会」がブームである。

日本在住の外国人の多くは、多文化共生の社会で自分たちも役に立ちたい、そして、協力して一緒に生きていきたいと願っている。

アンジェロさんは、まず、グリーンとイエローのサッカーユニフォームを纏った達磨を参加者一人ひとりに手に取ってもらい「この達磨が意味するのは、ブラジル人が多く住むことによって日本の文化がいかに多様化しているかということを知ってほしい」と。

講演の中でブラジル系テレビ局が制作したドラマ「失業してホームレス化した日本人をブラジル人労働者たちが助ける物語」を見ました。多文化共生を目指し、助けられる立場でなく自分たちも積極的に各方面で協力し、役立ちたいブラジル人の姿が描かれていました。

在日ブラジル人一世を宣言するアンジェロさん（日系3世の在住ブラジル人）は、「外国人住民を迷惑と思わず地域社会の一員として協力し合い、その彼等の活力を生かすべく日本のみなさんも発想の転換を考えてみてはどうでしょうか」と。

このことこそが講演の最大のメッセージだったのかもしれません。

プロフィール

1967年 サンパウロ市生まれ。サンパウロ大学ジャーナリズム学科卒。90年に日本に留学、新潟大学大学院および東京大学大学院を経て、ポルトガル語新聞の編集長を3年間務めた。日伯の移民やメディアを研究する傍ら、ジャーナリストとしても活動。また日本の各地で日本人市民やブラジル人移民を相手に国際交流や共生をテーマに数多くの講演をこなしてきた。NHKラジオジャンルのポルトガル語ニュースのアナウンサーも経験。著作・論文・研究活動など。2004年より現職。

総 会 議 事

監 査 報 告 書

◆議案第 1 号 平成18年度事業報告

- ・理事会・総会・正副委員長会議
 - ・委員会合同事業
富山まつり「越中おわら踊り」参加
国際交流フェスティバル2006
新春国際交流のつどい2007
語学(災害)ボランティア養成講座(中国語)
災害ボランティア活動参加者登録制度
ホームページによる情報提供
国際交流関係会議等への参加
 - ・各委員会の事業
- などを報告

◆議案第 2 号 平成18年度決算報告

収 入 の 部 (単位：円)

科 目	予 算 額 A	収 入 済 額 B	増 △ 減 B-A	説 明
1. 会 費 収 入	2,400,000	2,243,160	△156,840	
1. 個 人 会 費	1,500,000	1,374,000	△126,000	3,000円×458人
2. 家 族 会 費	200,000	185,000	△ 15,000	5,000円×37組
3. 法人・団体会費	700,000	684,160	△ 15,840	50法人・団体
2. 事 業 収 入	1,696,000	1,833,500	137,500	
1. 総会懇親会参加費	210,000	241,500	31,500	3,500円×69人
2. 新春国際交流の集い参加費	110,000	120,000	10,000	1,500円×62人(日本人) 500円×54人(外国人)
3. ALT交流会参加費	30,000	21,500	△ 8,500	1,000円×43人 (日本人・外国人共に)
4. ディスカバー富山参加費	50,000	0	△ 50,000	
5. 日本語講座受講料	0	0	0	
6. 中国語講座受講料	156,000	120,000	△ 36,000	6,000円×20人
7. 韓国語講座受講料(入門)	180,000	150,000	△ 30,000	6,000円×25人
韓国語講座受講料(初級)	180,000	210,000	30,000	6,000円×35人
8. ポルトガル語講座受講料	90,000	96,000	6,000	6,000円×16人
9. 日本語学習支援事業ボランティア交通費負担金	480,000	551,100	71,100	300円×1,837人
10. 日本語夏季集中講座教材費負担金	50,000	121,400	71,400	
11. 翻訳手数料	160,000	202,000	42,000	
3. 補 助 金 収 入	10,249,000	10,249,000	0	
1. 事 業 補 助 金	2,600,000	2,600,000	0	富山市補助金
2. 外国人相談業務補助金	7,649,000	7,649,000	0	富山市補助金(職員4人分)
4. 寄 付 金	10,000	0	△ 10,000	
1. 寄 付 金	10,000	0	△ 10,000	
5. 雑 収 入	200,000	101,193	△ 98,807	コピー使用料、預金利子
1. 雑 収 入	200,000	101,193	△ 98,807	
合 計	14,555,000	14,426,853	△128,147	

支 出 の 部 (単位：円)

科 目	予 算 額 A	支 出 済 額 B	増 △ 減 B-A	説 明
1. 管 理 費	9,519,000	9,970,858	451,858	
1. 会 議 費	520,000	421,485	△ 98,515	総会、理事会等
2. 人 件 費	7,649,000	7,695,763	46,763	外国人相談員(常勤2人、非常勤2人)
3. 管 理 諸 費	1,350,000	1,853,610	503,610	消耗品、電話料、印刷費、新聞代、備品等
2. 事 業 費	5,006,000	4,449,184	△556,816	
1. 合 同 事 業 費	1,415,000	1,328,785	△ 86,215	国際交流フェスティバル、新春のつどい
2. 総務企画事業費	160,000	35,710	△124,290	国内研修、TCAカレッジ
3. 姉妹友好都市	380,000	338,819	△ 41,181	海外研修
4. 文化交流事業費	155,000	137,868	△ 17,132	日本伝統文化紹介、交流会等
5. ボランティア事業費	90,000	89,938	△ 62	ボランティア養成講座、交流会等
6. 広 報 事 業 費	816,000	813,335	△ 2,665	広報誌印刷、郵送料
7. 国際教養事業費	406,000	344,727	△ 61,273	語学教養講座
8. 語学講座事業費	1,584,000	1,360,002	△223,998	講師謝礼、日本語学習支援
3. 予 備 費	30,000	0	△ 30,000	
1. 予 備 費	30,000	0	△ 30,000	
合 計	14,555,000	14,420,042	△134,958	

収入済額 14,426,853円－支出済額 14,420,042円＝残額 6,811円(翌年度繰越金)

平成18年度富山市民国際交流協会の決算について監査したところ、正確に処理されており、決算諸表、会計帳簿等も適正であると認めました。

平成19年4月12日

監 事 中 川 泰 三



監 事 村 尾 笙 子



◆議案第 3 号 平成19年度事業計画

理事会・総会・記念講演会および懇親会
委員会合同事業

- ・国際交流フェスティバル2007
と き 10月20日(土)～21日(日)
と ころ CiCビル及びCiC前面広場
- ・新春国際交流のつどい2008
- ・国際交流関係会議等への参加
- ・富山まつり「越中おわら踊り」参加
- ・ホームページ情報提供
- ・語学(災害)ボランティア養成講座開講(韓国語)
- ・災害ボランティア活動参加者登録制度

総務企画委員会

- ・国内研修
- ・国際交流TCAカレッジの開催
- ・関係国際交流団体の総会等への参加

姉妹友好都市委員会

- ・米国ダラム市富山姉妹都市パビリオン完成記念海外研修
- ・姉妹友好都市等の訪問団員との交流会
- ・姉妹友好都市からの富山在住者との座談会

文化交流委員会

- ・日本伝統文化等の紹介
- ・もっと知ろう世界の街(世界の国と文化を訪ねる)
- ・交流会(日帰り交流会・スポーツ交流会)

ボランティア委員会

- ・ボランティア養成講座
- ・外国人交流会
- ・外国人のための日常生活勉強会
- ・ホームステイ・ホームビジット
- ・海外ボランティア活動への支援事業

広報委員会

- ・当協会会報「TCA-NEWS」の発行
(年4回－4・7・10・1月号 1,300部/1回)

国際教養委員会

- ・一般研修講座(11講座)
- ・ディスカバー富山
- ・ALT(外国語指導助手) 交流会
- ・外国人訪問団、行事等における通訳・ガイド協力

語学講座事業

- ・中国語講座、韓国語講座、ポルトガル語講座
- ・ボランティアによる日本語学習支援事業
- ・外国籍児童・生徒への学習日本語支援
- ・高校生のための“通訳ガイド(英語)入門夏季集中講座”
- ・多文化共生通訳ガイド養成講座 他

その他

- ・相談業務
- ・翻訳・通訳
- ・交流事業への支援(紹介、派遣、資料提供等)
- ・月季(ばら)の会
- ・図書貸出業務
- ・会議室1の開放

◆議案第 4 号 平成19年度収支予算

収 入 (単位：千円)				
科 目	予 算 額 A	前年度予算額 B	増△減 A－B	説 明
1. 会 費 収 入	2,340	2,400	△ 60	
1. 個 人 会 費	1,440	1,500	△ 60	3,000円×480人
2. 家 族 会 費	200	200	0	5,000円×40組
3. 法人・団体会費	700	700	0	10,000円×70口 60団体・企業
2. 事 業 収 入	1,880	1,696	184	
1. 総会懇親会参加費	240	210	30	4,500円×60人
2. 新春国際交流の 集い参加費	110	110	0	1,500円×60人(日本人) 500円×40人(外国人)
3. A L T交流会参加費	30	30	0	1,000円×20人(日本人) 500円×20人(A L T)
4. ディスカバー富山参加費	50	50	0	2,000円×15人(日本人) 1,000円×20人(外国人)
5. 中国語講座受講料	182	156	26	7,000円×26人
6. 韓国語講座受講料(入門)	210	180	30	7,000円×30人
韓国語講座受講料(初級)	210	180	30	7,000円×30人
7. ポルトガル語講座受講料	105	90	15	7,000円×15人
8. 日本語学習支援事業 ボランティア交通費負担金	480	480	0	300円×1600人
9. 日本語夏季集中講座 教材費負担金	100	50	50	
10. 高校生のための実技 通訳・ガイド入門	3	0	3	500円×6人
11. 翻 訳 手 数 料	160	160	0	
3. 補助金収入	10,320	10,249	71	
1. 事 業 補 助 金	2,500	2,600	△ 100	富山市補助金
2. 外国人相談業務補助金	7,820	7,649	171	富山市補助金(職員4人分)
4. 寄 付 金	10	10	0	
1. 寄 付 金	10	10	0	
5. 雑 収 入	200	200	0	コピー使用料、預金利子
1. 雑 収 入	200	200	0	
6. 繰 越 金	6	0	6	
1. 繰 越 金	6	0	6	
収 入 合 計	14,756	14,555	201	

支 出 (単位：千円)				
科 目	予 算 額 A	前年度予算額 B	増△減 A－B	説 明
1. 管 理 費	9,579	9,519	60	
①会 議 費	487	520	△ 33	◎総会費 475,000円 ・総会資料 120,000円 ・会場借上料 25,000円 ・講師謝礼等 50,000円 ・懇親会費 280,000円 ◎理事会諸費 12,000円
②人 件 費	7,820	7,649	171	◎外国人相談員(常勤2人、非常勤2人) ・給料・社会保険料等 7,820,000円
③管 理 諸 費	1,272	1,350	△ 78	消耗品費(コピー代等) 96,000円 印刷製本費 86,000円 食 糧 費 40,000円 郵便料等 80,000円 電話料等 20,000円 旅 費 170,000円 新聞・図書購入費 100,000円 負担金・会費 60,000円 インターネット維持管理費 100,000円 費用弁償 520,000円
2. 事 業 費	5,147	5,006	141	
①合 同 事 業 費	1,380	1,415	△ 35	◎国際交流フェスティバル2007開催負担金 1,000,000円 ◎新春国際交流の集い開催費 150,000円 ◎とやま祭り参加諸費 30,000円 ◎災害語学ボランティア養成講座 100,000円 ◎災害ボランティア登録制度導入費100,000円 ・保険料 30,500円 ・研修会講師謝礼 50,000円 ・手引書印刷費 19,500円
◎総務企画事業費	160	160	0	国内研修助成費 120,000円 国際交流TCAカレッジ開催費(講師謝礼等) 40,000円
◎姉妹友好都市交流事業費	430	380	50	海外友好訪問助成事業(ダラム市バビリオ ン竣工記念式典参加) 350,000円 姉妹友好都市訪問団歓迎会費 80,000円
④文化交流事業費	155	155	0	◎日本伝統文化紹介 75,000円 ・民謡おわら踊り 10,000円 ・華 道(材料費等) 15,000円 ・工芸教室 10,000円 ・茶 道 10,000円 ・音楽鑑賞 10,000円 ・座 禅 20,000円 ◎交流会 60,000円 ・日帰り交流会 40,000円 ・スポーツ交流会 20,000円 ◎もっと知ろう世界の街 20,000円 (2回、講師謝礼、資料等)
◎ボランティア事業費	90	90	0	ボランティア養成講座 講師謝礼 10,000円×2回=20,000円 外国人交流会開催諸費 63,000円 ボランティア支援事業諸費 7,000円

科 目	予 算 額 A	前年度予算額 B	増△減 A－B	説 明
⑥広 報 事 業 費	816	816	0	広報紙(TCA-NEWS)発行費 134,000円×4回=536,000円 印刷費 280,000円 発行諸費(郵送料・取材諸費)
⑦国際教養事業費	406	406	0	講師謝礼等 ・ロシア語講座 3,000円×10回=30,000円 ・中国語講座 3,000円×10回×3人=90,000円 3,000円×1回×4人=12,000円 ・英語講座 1,000円×12回×2人=24,000円 ・E S D 3,000円×10回=30,000円 ・日本文化英語交流クラス 3,000円×10回=30,000円 ・多言語語文化交流クラス 3,000円×8回=24,000円 ・日本語ボランティア養成講座 36,000円 ・ディスカバー富山 100,000円 ・A L T交流会開催費 30,000円
⑧語学講座事業費	1,710	1,584	126	講師謝礼等 ・中国語講座 6,000円×30回=180,000円 ・韓国語講座 6,000円×30回(入門)=180,000円 6,000円×30回(初級)=180,000円 ・ポルトガル語講座 6,000円×30回=180,000円 ・日本語学習支援事業ボランティア 600,000円 ・ボランティア養成費 60,000円 ・日本語ボランティア登録者研修 30,000円 ・日本語夏季集中講座諸経費 100,000円 ・外国人児童・生徒支援事業ボランティア 160,000円 ・高校生のための通訳ガイド入門 10,000円 ・多文化共生通訳ガイド養成 30,000円
3. 予 備 費	30	30	0	
1. 予 備 費	30	30	0	
支 出 合 計	14,756	14,555	201	

◆議案第 5 号・6 号 理事・監事の選任について

協会規約第 8 条により次の者を理事・監事に選任
理事 みなもと 源 てっひろ 哲弘(富山商工会議所青年部会長)
監事 おくい 奥井 てるお 輝男(富山市民市民学習センター所長)

富山市民国際交流協会役員等名簿

役職名	氏 名	所属団体及び役員名	備 考
名誉顧問	久保田照雄	富山市民国際交流協会前会長	
会 長	八嶋 健三	富山商工会議所会頭	
副会長	小川 弘	富山国際大学監事	
〃	山崎佐和子	富山商工会議所女性会会長	
理 事	大崎 和紀	富士メリヤス(株)取締役社長	
〃	新田 八朗	日本海ガス(株)取締役社長	
〃	並木 誠	北陸電力(株)取締役富山支店長	
〃	倉石 泰	富山大学理事・副学長	
〃	西田 良正	富山市中学校校長会会長	
〃	源 哲弘	富山商工会議所青年部会長	新規選任
〃	白山 肇	富山県青年海外協力隊を育てる会会長	
〃	門島 睦広	富山市翼の会会長	
〃	川西 重治	富山市美術作家連合会事務局長	
〃	竹田テル子	富山市女性団体等連絡協議会会長	
〃	吉川 憲子	ウイメンズ ウイング トヤマ会長	
〃	林 千文	富山市社会教育委員	
〃	小川しげみ	ガールスカウト富山県支部庶務委員長	
〃	北東 俊夫	富山市民国際交流協会総務企画委員長	
〃	梅澤 信義	〃 姉妹友好都市委員長	
〃	飯田 光男	〃 文化交流委員長	
〃	大窪 渉	〃 ボランティア委員長	
〃	岡田 昌代	〃 広報委員長	
〃	神保 正	〃 国際教養委員長	
監事	村尾 笙子	国際ソロプチミスト富山	
〃	奥井 輝男	富山市民学習センター所長	新規選任
参与	松岡 一	富山市民国際交流協会元事務局長	
〃	小川 光夫	〃 元事務局長	
〃	町村 紀弘	〃 元事務局長	
〃	竹丸 忠	〃 元事務局長	
〃	場家 英範	〃 前事務局長	

以上、平成19年度富山市民国際交流協会総会等要旨。
なお、総会の資料は協会事務局にあります。

多国言語文化交流クラス

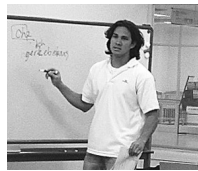
英語スピーチと討論の会(ESD)

パラオ & パラオ語

4月7日

講師 Chris Kitalong氏(富山大学大学院薬学研究科留学生)

パラオは、南太平洋の日本の真下に位置する屋久島位の大きさの熱帯の島国で日本と時差はありません。400程の点在する小島に約2万人が住んで居り、過去にはスペイン、ドイツ、日本、アメリカと4ヶ国の支配下にありました。



第二次世界大戦時、ペリリュー島に日本の飛行場があったために、ここで日米軍の戦闘が72日間も続き、12,000人の日本兵が玉砕、全滅しました。激戦で美しい珊瑚礁の海が血で真っ赤に染まり、その海は、今でもレッドブラッドビーチと呼ばれています。そんな中、統治していた日本軍は、ペリリュー島の全住民を船で別の島へ疎開させて戦禍から守ったのです。

パラオの人たちは、戦死者を悼んで鳥居や神社を建造したり、老人は流暢な日本語を話すなど親日的です。

参加者は、クリスさんの話をうなづきながら聞き入っていました。

ハンガリー & ハンガリー語

6月2日

講師 ボグナール・ペーテル氏(富山大学人文学部留学生)

ハンガリーは、ヨーロッパのほぼ中央に位置し7ヶ国と国境を接する内陸の国です。陸続きのヨーロッパでは、古来同じ領土を持ち続けた国はありません。敵国や異民族が攻めて来て国家は幾度と無く存亡を繰り返して来ましたが、その意味では、ハンガリー人もよそ者と言えますが、長い歴史をしたたかに生き残ってきた民族は、2つの大戦、社会主義体制変革期を経て、現在、ハンガリー共和国は、2004年にはEUに加盟し、民主化、自由化を推進しています。



ボグナールさんは、日本人でも難しい漢字をスラスラ読み書きされ、日本語に堪能で面白い話に参加者は思わず引き込まれてしまいました。

4月例会

4月10日 18:30~20:00

テーマ 「Nonsense literature as a genre」

スピーカー David Horsley氏(富山外国語専門学校常勤嘱託講師)

ルイス・キャロルの「不思議の国のアリス」で知られる、言葉遊びを多用した一見無意味なNonsense文学は、果たして本当にNonsenseなのか？そもそもNonsenseとは何か？自らNonsense文学の著者でもある講師が、子供向けの言葉遊びから奥深い大人の文学へと変わっていったNonsense文学の歴史を紹介。造語だらけのキャロルの詩が、無意味と有意味の微妙なバランスを保っている巧妙さを、擬態語に見られる英単語の特徴をふまえた上で分かりやすく示した。最後に数学の確率を使ったパズルで、参加者はNonsenseがMake Senseに変わる瞬間を体感した。

講師がToo Much Senseと結論づけた不思議なNonsenseの世界に、参加者は魔法にかかったように吸い寄せられていた。



5月例会

5月15日 18:30~20:00

とやま国際センターにて

テーマ 「Scotland and its relation to the rest of the U.K.

looking at history and the current situation」

スピーカー Philip Graham氏(富山外国語専門学校非常勤講師)

1世紀のローマ帝国の侵略時、激しく抵抗した北部と馴化した南部に文化的な相違ができた。11世紀の南北統一後、14世紀に独立したが1707年に両国の議会在統一されて再び独立は終わりを告げる。近い将来、独立を問う国民投票が行われる予定である。イングランドとは、法律、教育、金融制度、スポーツリーグ、マス・メディアなどで違いを見せる。テレビ、映画、電話、ペニシリン、自由市場、カーリング、ゴルフなど、500万人の人口の割には世界に影響を与えるアイディアを思いついたのがスコットランド人である…と。

スコットランド人である、ということに誇りをもっている講師の思いが伝わってきました。



6月例会

6月12日 18:30~20:00

テーマ 「The People of Suriname」

スピーカー Aida Sylvia Painten Salijo Mohamatsaid氏(主婦 富山市在住)

私は、スリナム共和国出身で国籍はオランダです。スリナム共和国は、南アメリカ大陸北部、アマゾン熱帯雨林9ヶ国の1つで、人口約44万人、1975年の独立まではオランダ領でした。17世紀、オランダとイギリスが入植し、最初はアフリカ人奴隷を、奴隷制廃止後はインドネシア、インドなどから契約移民を使用する大規模農園経営が産業の中心だったが、現在では鉱業が経済の中心です…と。

現在、日本では信じられないような「家族のルーツ」をトレースするため、データ・ベースづくりが進んでいるそうです。雑多な民族構成の珍しい国の話の熱弁に質疑応答が尽きませんでした。



これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。

国際教養委員会

語学(災害)ボランティア養成講座(韓国語)開講

災害ボランティア活動支援のための(語学)養成講座(39名)が始まりました。開講式の後、須田麗子氏(ブルネイダラサラーム出身、元新潟県国際交流協会通訳)の「『協力?』~新潟県中越地震を経験して、また、通訳として感じたこと~」と題した記念講演がありました。

外国人として日本に住んで、多くの辛い体験をしながらも長い期間を経て、少しずつ築いて来た須田さんの生活を聞いて涙を流す参加者もありました。

須田さんのお話から在住外国人がかかえる課題そのものが見えてきました。そして、そこから震災時の通訳者に望まれる在住外国人の声が聞こえて来るようでした。正しい情報を出来るだけ早く多く伝える。また、一人ひとりの深い部分の不安に答えられるように、入管法や労働法など法律の事はもちろん、通訳を超える通訳者でなければならない。などと熱く訴えられました。

須田麗子さんは2年前の当講座(英語)でもご講演をいただきましたが、好評であったため再度お願いをしました。



養成講座日程表

回	開講日	担当講師	内 容
1	6月9日(土)		開講式 オリエンテーション 講演: 須田 麗子氏 「震災を経験して、また通訳として感じたこと」 講師紹介・自己紹介 等
2	6月23日(土)	崔 桂林	災害が起こる前に(1) 富山の災害について (地震、洪水、台風、津波、地すべり)
3	7月14日(土)		災害が起こる前に(2) 災害への備え、日頃の内構え
4	7月28日(土)	姜 慶淑	復習 (30分) 防災訓練について ロールプレー
5	9月29日(土)		富山市総合防災訓練参加
6	9月8日(土)	宋 善珠	講演 八木 政徳氏(日本赤十字社富山県支部事業推進課長) 災害が起こったあと(1) 避難所に入ってから
7	10月13日(土)		災害が起こったあと(2) 医療通訳、アナウンス通訳(現状情報・復旧の状況)
8	10月27日(土)	崔 桂林	災害が起こったあと(3) 相談事例(安否確認、ライフライン問合せ)
9	11月10日(土)	未定	講演 「富山在住の韓国人が日本の生活で感じること」
10	11月17日(土)		まとめと修了式

お知らせ

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

平成19年度行事予定

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
多国言語文化交流クラス パキスタン&ウルドゥー語 ファイサル・ハイダル氏	7月7日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
英語スピーチと討論の会例会 Dan Sinawat氏	7月10日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会 員
日本語ボランティア登録者研修 「日本語学習者の母語を知ろう」	7月21日(土) 10:30~12:00	当センター	—	無料	日本語ボランティア登録者
富山大学留学生ホームビジット	7月28日(土) 10:00~17:00	—	ボランティア	—	—
ゆかた着付け及びおわら踊り教室	7月29日(日) 13:30~	当センター	ボランティア 文化交流	無料	外国人
富山まつり「おわら踊り」	8月4日(土) 16:00~21:00	城址大通り	合同	無料	会員・外国人
高校生のための「通訳ガイド(英語)入門夏季集中講座」	8月6日(月)~9日(木) 10:30~12:30	当センター	国際教養	500円	高校生
夏季集中日本語講座 入門・初級・会話・中級・能力試験対策	8月20日(月) 10:30~12:00 ~25日(土) 13:30~15:00	当センター	—	—	外国人
A L T交流会	8月28日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	500円	会員・A L T
もっと知ろう世界の街「米国テキサス州 サンアントニオ」 講師 富山市長 森雅志氏	8月31日(金) 14:00~15:00	当センター	文化交流	無料	会 員
外国人のための日常生活勉強会	9月3日(月) 14:00~15:30	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	無料	会員・外国人
友好都市講座「中国 秦皇島市」 講師 劉 卓氏	9月7日(金) 18:30~20:00	当センター	姉妹友好都市	無料	会 員
英語スピーチと討論の会例会 越谷美和子氏	9月11日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会 員
富山市総合防災訓練参加	9月29日(土) 9:00~11:00	大山町	合同	無料	—
ディスカバー富山	9月30日(日) 9:00~16:30	富山市内各地	国際教養	昼食代等実費	会員・外国人
みんなで歌いましょう ミニコンサート	9月29日(土) 13:30~15:00	CiC音楽室	文化交流	無料	会員・外国人
海外研修	10月9日(火)~16日(火)	米国ダーラム市ほか	姉妹友好都市	350,000円(予定)	会 員
国際交流フェスティバル2007	10月20日(土)~21日(日)	CiCビル及びCiC前面広場	合同	—	—
茶 道	10月21日(日) 10:00~16:00	当センター	文化交流	無料	外国人
国内研修	未定	未定	総務企画	未定	会 員
座 禅	11月4日(日) 13:30~15:00	梅沢町海岸寺	文化交流	未定	外国人
料理教室(日本料理)(2)	11月5日(月) 10:30~13:30	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	外国人
華 道	12月2日(日) 13:30~15:00	当センター	文化交流	300円	外国人
年忘れファミリーパーティ	12月9日(日) 13:00~15:00	当センター	ボランティア	200円	会員・外国人
新春国際交流のつどい2008	1月12日(土) 14:00~16:00	CiC多目的ホール	合同	未定	会員・外国人
太極拳	未定	当センター	文化交流	無料	外国人
富山大学留学生ホームビジット	未定 10:00~17:00	—	ボランティア	—	—
料理教室(日本料理)(3)	2月7日(木) 10:30~13:30	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	外国人
中国語集中講座(入門~中級)全5回	3月 未定	当センター	国際教養	—	—

* 国際交流TCAカレッジ・多文化共生通訳ガイド養成講座は、合同で開催する計画をしております。

あなたも参画しませんか!

国際交流フェスティバル2007 10月20日(土)~21日(日)

ボランティアスタッフ募集!

ダーラム市に「日本風茶室」完成 落成式に訪問団員募集!

米国 ダーラム市富山姉妹都市委員会が、デューク大学日本庭園内に建設を進めていた「日本風の茶室」が近く完成の運びとなり、10月10日に現地で落成式が行われます。

当協会では、この建設に当たり、平成16年2月から建設資金募金活動を実施し、第1次・第2次の募集分と富山市分125万円を合わせて3,205,089円をダーラム市へ送金しております。

落成式には富山市長の出席が予定されており、当協会からも多数出席したいと思いますのでよろしくお願いします。

次のとおり訪問団員を募集します。

日 程 10月9日(火)~16日(火) ダーラム市でホームステイの予定もあります。

訪問先 ダーラム ワシントン ニューヨーク

旅 費 350,000円 予定(燃油・空港税等30,000円を含む)

申込み 8月31日(金)まで(30名)

担当旅行社 名鉄観光サービス(株)富山支店

編集後記

平成19年度富山市民国際交流協会総会が開催されました。ひきつづいて、在日ブラジル人一世を宣言するアンジェロ・イシさんの「在住外国人の素顔と本音」と題しての記念講演がありました。アンジェロさんは、在住外国人の思いや願い、そして、アイディアなどに気づいてほしいと訴えて、理解や善意を私たちに求めていることを伝えられたのではないのでしょうか。

6月10日 高岡市国際交流協会総会に出席しました。勸業田市国際交流協会事務局長時代から当協会と親交のあったトルンさんに久しぶりにお会いできることが一番の目的でもありました。

総会後の講演会で、ブイ・チ・トルン氏(愛知淑徳大学文化創造学部教授)は『『多文化社会日本』への提言』と題して、日本の多文化社会の現状と特徴、地域の課題と取り組み、そして、対応とその可能性について熱く講演されました。

今年3月、富山県では、国の指針に基づいて「多文化共生推進プラン」が策定されました。

これからの共生社会は、外国人住民を迷惑と思わずに「外国人力」を生かして、多文化をパワーに変える発想の転換が必要なのではないでしょうか。

広報委員長 岡田昌代